

① 会の実情（会長、幹事長、役員の変動等）について

母校の各部（とりわけ運動部）では、旧部員を網羅したいわば“縦の会”とでもいうべき組織が結成され、活発に活動されていると仄聞しておりますが、新聞部ではそのようなものはありません。

これはS.30年代の後半から徐々に部員数が減少傾向にあり、近年では僅か1名という年度もあるとのことですから、横のつながりすら構成できないことが最大の理由ではないかと考えます。

しかしごく狭い範囲ではありますが、私がメンバーの一員となっている組織といたしまして、次の2グループがあります。

A) 「るつぼ31会」（“横の会”的なもの）

31回生の元部員9名（うち女子3名・長期間返信のない男子数名を除く）を中心とし、これに同期の者3名（部員ではないが協力者。うち女子1名）を加えた計12名で構成しております。幹事役は藤沢・鎌倉の在住者が共同で勤めて、偶数年の秋ごとに開催してきましたが、諸般の事情によりここ数年は休止状態となっております。

なお、会長または幹事長等の役職は特に定めておりません。

B) 「旧新会」（“縦の会”的なもの）

「湘高新聞・復刻版」の編集作業に従事した元新聞部員8名（30回生3名、31回生3名、34回生2名）は、作業期間中に親交を深めてきましたが、18年4月に復刻版が刊行された後も、引き続き親睦を重ねるべく上記の会を結成し現在に至っております。

（ただし22年2月に34回生の神谷紀一郎氏が亡くなったため、会員数は7名です。）

ご質問に対する回答としてB)の「旧新会」に限定しますが、現状は以下のとおりです。

代表幹事 内藤 （31回生）〔原則として暦年1年毎の持ち回り〕

幹事長 長谷川 （34回生）〔当分の間固定〕

（HP掲載：諾）

② 最近実施された総会等の開催状況について

1. 「旧新会」の総会

開催日時：22年9月29日（水）大船にて

参加人員：7名（全員）

内 容：「湘高新聞・復刻版の完全CD化」を討議

(説 明) 「湘高新聞」は、単に母校の歩みを記録するだけの資料であるのみならず、新制
高校教育の実情と、往時における高校生の言動等が追認できる貴重な内容を有
するものであると確信しておりますが、創立 85 周年記念事業の一環としてその
復刻版(縮刷版)を編集するにあたり、われわれはこれに紙面と同時代の世相
を『年表』として新規に付け加えることによって、資料としての厚みを更に充
実させたいというコンセプトのもとに着手いたしました。

ただし製本化された復刻版本体はかなり大型でかつ重量があるため、ハンドリ
ング上若干難点がありますので、持ち運びやすさと IT 化社会であることを考慮
してその全内容を一枚のCD(PDF化)に収め、湘友会の会員および母校の教職
員各位に活用の幅を広げていただきたいとの原案に基づき討議をし、全員一致
で可決いたしました。

(付 記) この結論をもって田辺会長に実現方をお願いしたところご快諾をいただきまし
たので、印刷会社に発注し近日中に納品の予定となっております。

2. その他

「旧新会」では、21 年 7 月 18 日に毎日新聞の駐米特派員としてご活躍中の國
枝すみれさん(元部員: 61 回生: 2005 年度に「ボーン・上田賞」を受賞)を藤
沢にお招きして懇談し、海外事情を中心とした貴重な体験談をお聞きしました。

(HP 掲載: 諾)

3. 今後の会合予定について

1. 「るつぼ31会」

来秋に再開したいと考えております。

2. 「旧新会」

原則として毎年 3, 6, 9, 12 月に例会を開催することにしていますが、近年はメ
ンバーの都合により、年 2 回(随時)でかつ「昼食会」に変更しております。

3. その他

内海氏(元部員: 48 回生)から、同氏と同期の元部員が中心となって「旧新
会」と同様のグループを結成しているとの情報が寄せられましたので、顔合
わせを計画したいと考えております。

(HP 掲載: 諾)

元新聞部の「旧新会」

代表幹事 内藤(31 回生)